

科目区分	専門分野		科目番号	1103	曜日時間	不定期
授業科目	小児看護学援助論Ⅱ					
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次通年	授業形態
担当教員	四元 茂 ・ 松木 彩織					
授業目的	小児に特有の小児疾患によりどのような機能が障害され、生活に影響をあたえるのかを理解し、小児疾患をもつ小児と家族の看護を学ぶ。					
中核	子どもの健康障害と対応					
授業目標	1. 病気・障害の原因となる小児疾患に特有な病態・症状・診断・治療を学ぶ。 2. 小児疾患がどのような健康障害をおこし、生活に影響をあたえるのか理解できる。 3. 小児疾患により健康障害をおこしている小児と家族の援助方法を理解できる。					
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考
	10	1. 染色体異常 2. 感染症（ウイルス） 3. 感染症（細菌・その他） 4. 呼吸器疾患・循環器疾患・消化器疾患 5. 呼吸器疾患・循環器疾患・消化器疾患 6. 新生児疾患 7. 代謝・内分泌疾患 8. 免疫・アレルギー疾患 9. 血液・悪性新生物疾患・腎疾患 10. 神経疾患・精神疾患（発達障害）・その他	講義	20	四元茂	
実務歴有	医師					
講義への反映	臨床場面から新生児医療の現状と看護の必要性を実感できる講義を展開する					
授業の内容と方法	5	1. ハイリスク新生児と看護 低出生体重児の看護 2. 機能障害の原因となる疾患と看護 代謝性疾患と看護、内分泌疾患と看護、アレルギー疾患と看護、感染症と看護、消化器疾患と看護 呼吸器疾患と看護、循環器疾患と看護、血液・造血器疾患と看護、悪性新生物と看護、腎・泌尿器疾患と看護、運動器疾患と看護、感覚器疾患と看護 3. 事故・外傷と看護 4. 評価・まとめ	講義	10	松木彩織	
実務歴有	看護師					
講義への反映	臨床場面から新生児医療の現状と看護の必要性を実感できる講義を展開する					
終了後課題						
評価計画方法	終了試験、講義後小テスト、リフレクションノート、提出物および提出状況、授業中の態度から総合的に評価する。					
テキスト参考図書	奈良間 美保他著：小児看護学②小児臨床看護各論，医学書院					
備考	概論から継続したリフレクションノートとクリアファイル（ポートフォリオ）を使用すること					